

第18回すいせんウォーク

寒さ吹き飛ばし 足取り軽快に

「第18回ながしますいせんウォーク」が1月18日に行われ、町内外からの約1400人の参加者がスイセンが咲き誇る沿道を散策しました。

この日は町文化ホールを発着点とした、小浜崎古墳群を周回する6^{キロ}の古墳めぐりコースと長崎鼻灯台を折り返す12^{キロ}のすいせんめぐりコースで実施されました。

冷たい風が吹く中、午前10時

にすいせんめぐりコース、10分後に古墳めぐりコースがスタートしました。参加者らは思い思いのペースで歩を進め、青く澄み渡った東シナ海の水平線や赤土の段々畑の眺望などを満喫しました。

すいせんめぐりコースでは、唐隈子ども育成会（石本将太会長）がボランティアとして参加。みかんや焼き芋などのもてなしで、参加者と子どもたちは和気

あいあいと交流を楽しんでいました。

ゴール後は、農産物や水産加工品などが当たる抽選会が行われ、にぎわいました。

鹿児島市から参加した小学6年生の重久洗楽君は「長島の景色や食べ物が好きで6回目の参加。抽選会ではウニが当たって嬉しい」と喜んでいました。



①



②



③



④

①スイセンが咲き誇る長島路をウォーキング②抽選会で当たった長島の特産品を手に笑顔の家族連れ③号砲とともに一斉にスタート④唐隈子ども育成会が参加者を笑顔でおもてなし